



50th Year of
ASEAN-Japan
Friendship and Cooperation

日ASEAN50周年記念 環境ウィーク2023

技術展示/ビジネスマッチング/セミナー

8月22日(火)~24日(木)

会場 ナショナル・コンベンションセンター
ラオス・ビエンチャン

参加
無料

<https://jprsi.go.jp/en>

◆オンライン同時開催◆



イベント概要

環境ウィークは、環境に関する日本の取組や技術を広め、国際環境協力と環境インフラの導入・普及を推進し、開発途上国の環境改善・持続可能な発展に寄与することを目的としています。日ASEAN友好協力50周年の節目である本年は、ASEAN各国の環境課題及びニーズを取り上げ、その解決のための日本の知見や経験、環境技術・ソリューションを紹介する環境インフラ技術セミナー、日本及びASEAN各国の企業が自社の先進技術を紹介しビジネスマッチングを促進するための企業展示会等を開催します。

プログラム内容		
8月22日(火)	8月23日(水)	8月24日(木)
ASEAN環境大臣会合(AMME)準備会合 ※非公開	ASEAN環境大臣会合(AMME) ※非公開	ASEAN+3環境大臣会合 ※非公開

日ASEAN50周年記念環境ウィーク2023

12:30-12:40 <u>開会セッション</u>	12:00-13:00 <u>出展者プレゼンテーション・参加者ランチ</u>	11:00-11:50 日ASEAN環境大臣会合(AJMDEC) ※非公開
12:50-17:25 <u>セミナー</u>	13:00-16:55 <u>セミナー</u>	11:50-12:30 <u>日ASEAN新イニシアティブ発足式</u> ※一般公開
1. JCM 2. ASEAN MRV Guideline 3. Long-term Strategy 4. Subnational Climate Action 5. SDGs Actions	6. Marine Plastics 7. Plastic Waste 8. Water Pollution 9. Climate & Gender	12:30-13:30 <u>出展者プレゼンテーション・参加者ランチ</u> ※一般公開
		13:30-15:00 <u>日ASEAN環境協力シンポジウム</u> ※一般公開

企業出展・商談会(会場/オンライン)

共催・後援

共催：日本国環境省(MOEJ)、ASEAN事務局(ASEC)、ラオス国天然資源環境省(MONRE)

後援：ラオス商会議所連合会(LNCCI)、ラオス日本人商工会議所(JCCIL)、独立行政法人国際協力機構(JICA)ラオス事務所、在ラオス日本国大使館、在日ラオス国大使館、国際機関日本アセアンセンター、独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)ビエンチャン事務所、環境インフラ海外展開プラットフォーム(JPRSI)、一般社団法人海外環境協力センター(OECC)



日ASEAN環境ウィーク事務局 (一社 海外環境協力センター)
Email: asean-ew-sec@oecc.or.jp

事前参加登録について

参加登録無料

当イベントにご参加いただくにあたり、事前参加登録が必要です。以下のURLまたはQRコードより「日ASEAN50周年記念環境ウィーク」のエントランスページにアクセスしてください。

<https://jprsi.go.jp/en>



Registration

クリックいただくとそのまま参加登録ページに移動します。



セミナー



JCMセミナー @インド環境ウィーク

JCMクレジット制度、温室効果ガス算定報告、水質汚染、プラスチック削減の優良事例、海洋プラスチックなど、ASEAN諸国における気候変動や環境分野のセミナーを開催します。（※プログラム詳細はWEBサイトにて順次更新しておりますので、ご参照ください。）

商談会・ビジネスマッチング



ASEAN諸国における新規ビジネス機会創出、新規顧客獲得、事業拡大のきっかけづくりの場にしていただけます。

環境技術展示会



環境技術展示会の様子 @インド環境ウィーク



オンライン展示 (イメージ)

【出展分野】

再エネ証書、カーボンクレジット創出、産業廃棄物等の収集・運搬・処理技術、水素技術、排水処理システム、衛星リモートセンシング技術、AI/IoTデバイスを用いた環境移送技術、水処理技術、水上太陽光発電システム、HRMS、環境分野におけるジェンダー等。

上記分野に関する調査・コンサルティング等の事業及びこれらに関する技術・ノウハウの提供

※いずれのイベントもオンライン(Zoom予定)／現地開催のハイブリッド形式で開催いたしますので、どちらの方法でもご参加可能です。



日ASEAN環境ウィーク事務局 (一社 海外環境協力センター)
Email: asean-ew-sec@oecc.or.jp

特別プログラム

22日(火)

12:30~12:40
開会セッション

Room 4

挨拶

- 駐ラオス日本国特命全権大使
小林 賢一氏
- ラオス国天然資源環境省副大臣
サイナコーン・インタヴォング氏

24日(木)

11:50~12:30
日ASEAN
新イニシアティブ発足式

Room 2

開会挨拶

- 日本国環境大臣
西村 明宏氏
- ラオス国天然資源環境大臣
ブンカム・ヴォーラチット氏

日ASEAN新イニシアティブ発表

ASEANの気候と環境に関する新戦略プログラム(SPACE)の紹介
環境省地球環境局 特別国際交渉官
小川 眞佐子氏

ASEAN各国からのコメント

写真撮影

24日(水)

13:30~15:00

日ASEAN

Room 4

環境協力シンポジウム

ビデオ放映

『これまでの日ASEAN協力の振り返り』

開会挨拶

小川 眞佐子氏 (日本国環境省 環境省地球環境局 特別国際交渉官)

講演

①『ASEAN気候変動戦略的行動計画2023-2030(ACCSAP)(仮題)』

有野 洋輔氏

地球環境戦略研究機関(IGES) 主任研究員 / プロジェクトリーダー(緩和と適応の統合)

②『ロス&ダメージ支援パッケージ(仮題)』

松田 英美子氏 環境省地球環境局総務課気候変動適応室 室長補佐

③『プラスチック汚染対策協力アクション・アジェンダ(仮題)』

河村 玲央氏 東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)海洋プラスチックごみに関する地域ナレッジセンター(RKC-MPD)センター長

④『多様性基金(仮題)』

蔵本 洋介氏 生物多様性条約事務局

パネルディスカッション

『日ASEAN環境協力のこれまでの課題と今後の展望』

モデレーター: 竹本 和彦氏

一般社団法人海外環境協力センター(OECC)理事長/ 国連大学サステイナビリティ高等研究所(UNU-IAS)所長

パネリスト:

- ASEAN加盟国からDG級想定3名程度
- 小川 眞佐子氏 環境省地球環境局 特別国際交渉官

8月22日(火)

12:50-13:40

セミナー①

ASEAN諸国におけるパリ協定6条実施及びJCM(二国間クレジット制度)の動向と展望

日本国政府はパリ協定6条に沿って、パートナー国の温室効果ガス(GHG)排出削減・吸収や持続可能な発展に貢献することを目的に、二国間クレジット制度(JCM)を通じた気候変動緩和策の実施に取り組んでいます。

本セミナーはCOP27で立ち上がった「パリ協定6条実施パートナーシップ」(A6IP)を始めとするパリ協定6条実施の進展の紹介に加え、ASEAN諸国と日本政府との協力に基づくJCMプロジェクトの展開など、パリ協定第6条の実施に向けた進展に焦点を当てます。

13:50-14:40

セミナー②

ASEAN地域におけるGHG排出・緩和行動の透明性に係る政策立案と実施

ーCo・イノベーションのための透明性パートナーシップ(PaSTI)やフルオロカーボン・イニシアティブ(IFL)の経験からー

本イベントでは、ASEAN気候変動作業部会(AWGCC)によって承認された「施設レベルの温室効果ガス算定と報告に関するASEANガイドライン」や、Co・イノベーションのための透明性パートナーシップ(PaSTI)やフルオロカーボン・イニシアティブ(IFL)を通じたASEAN地域における透明性向上のための支援など、ASEAN地域における気候変動対策の土台となる透明性向上の取り組みを促進するための活動を紹介いたします。ディスカッションセッションではPaSTIやIFLプロジェクトを通じて得られたASEAN各国からの知見共有や、今後期待される活動紹介及び意見交換が実施されます。

14:50-15:40

セミナー③

脱炭素に向けた国・都市レベルの長期戦略を基に産学官民で進める気候行動

ーアジア太平洋統合評価モデル(AIM)活用地域の事例よりー

長期戦略や長期計画はその名の通り、大目標に向かってそれぞれの国や都市が今後進むべき方向性や考え方を示すものです。アジア太平洋統合評価モデル(AIM)プロジェクトチームでは日本とアジアの研究者が協働し、AIMを依り代とした若手研究者育成(トレーニング)、共同研究、研究者と政策担当者との科学・政策対話会合を開催してきました。その結果、各国の研究者が各種データをもとに定量的な分析を行い、長期戦略や長期計画に科学的な根拠を提供する重要な役割を果たしてきました。本セッションは、科学を根拠とした長期戦略や長期計画がステークホルダーの気候行動にどのような含意やインパクトをもたらすのか、また、特にASEANの幾つかの都市においてAIMを用いて策定された計画がどのように地域に実装されているのかを、幾つかの事例をもとに考察します。

15:50-16:40

セミナー④

ASEANにおける地域脱炭素のための国のアクション

セミナーネットゼロ排出・気候レジリエンスの強化を実現するには、都市の気候変動が重要となっています。人口の増加や経済発展が見込まれるASEAN地域の地方政府の気候政策・行動を強化することが非常に重要です。

地方の気候対策の進展させる要素のひとつとして、国と地方の協力一国と地方の気候政策調整、国による地方政府への支援等が挙げられます。本イベントでは、地域脱炭素を加速させるための国の役割について考察します。

16:40-17:25

セミナー⑤

シナジーで日・ASEANの気候変動・SDGsアクションを加速する

環境省は2022年7月に国連経済社会局と国連気候変動枠組み条約事務局が東京で共催した「第3回パリ協定とSDGsのシナジー強化に関する国際会議」をホストし、今年7月には国連ハイレベル政治フォーラムのスペシャルイベントとして第4回会合が行われたところである。SDGsの実現およびその後も視野に入れながら、特にASEANでの好事例を元にSDGサミットやCOP28、APFSD2024、UNEA6、国連未来サミット等の機会を活用しての世界発信を議論する。

8月23日(水)

13:00-13:50

セミナー⑥

ASEAN地域における海洋プラスチックごみ削減強化のための知見共有と機会

急速な経済成長、持続不可能な生産と消費形態、適切な廃棄物管理インフラの不整備等の要因により、東アジア及び東南アジア地域は、海洋プラスチック汚染の最大の発生地域として認識されている。

ASEAN加盟国もまた、海洋ごみ対策のためのASEAN地域行動計画(2021-2025)の開始や各国における国家行動計画の策定など、地域・国レベルでの政策対応を通じ主導的な役割を果たしている。

政府間交渉委員会(INC)を通じたプラスチック汚染に関する国際的な法的拘束力のある文書の策定に向けた現行のプロセスを念頭に、本セミナーでは(1)現在までの東アジア・東南アジア地域における海洋プラスチックごみ対策の進展を共有し、(2)INCプロセスへ提示する同地域の声を形成し、(3)日・ASEAN関係の記念し今後の日・ASEANの協力分野を模索したい。

14:00-14:50

セミナー⑦

上流から下流にかけて:ラオスにおけるプラスチックごみ対策

日ASEAN50周年記念環境ウィークの場において、ERIAの海洋プラスチックごみに関する地域ナレッジ・センターは、ラオス天然資源環境省(MoNRE)と連携し、プラスチック廃棄物管理の改善とプラごみ削減に向けてラオスの民間企業が果たす役割について焦点を当てるセミナーを開催します。天然資源環境省からは将来的なプラスチック廃棄物管理のビジョンを共有してもらおう一方、ラオスの民間企業からは現在取り組んでいるプラごみ削減に向けた各種取り組みについて情報を共有してもらいます。

15:00-16:25

セミナー⑧

アジア水環境改善モデル事業の普及展開

東南アジア10か国から成る東南アジア諸国連合(ASEAN)は約6.8億人の人口を擁し、近年は高い経済成長を続けており、注目を集めている。一方、その経済成長に工場排水・生活排水等の汚水処理施設の整備が追いついておらず、自然浄化能力をはるかに上回る未処理排水を河川等への排出が続いている。

本セミナーでは、ASEANのビジネス概況と水環境ビジネスについて、日本・ASEAN諸国関係者に情報提供し、ASEANにおける水環境改善技術の導入や投資の促進を図るとともに、日本環境省の進める「アジア水環境改善モデル事業」の概要や日本の技術への理解を深め、ASEAN諸国関係者による水環境改善技術の導入や同事業の活用を図る。

16:35-16:55

セミナー⑨

メコン諸国の気候変動における女性のリーダーシップ

本セミナーセッションではメコン地域におけるコミュニティの経験をもとにした情報を発信します。女性の気候変動への経験を強調した、気候変動による災害に曝されている彼らの生計と社会的発展に、より深刻な影響を与えている事例が紹介されます。Oxfamメコン水資源統治プログラムの代表者を含む3名が登壇し、発表とディスカッションでは、女性の環境問題へのコミットメントが気候変動の緩和と適応にいかんにかんじて貢献するかに焦点を当てます。

技術展示・ビジネスマッチング

来場者の皆様は、会場内で出展者を含む他の参加者との商談に参加することができます。ビジネスチャンスの創出、ビジネスパートナーの発掘、ビジネスの拡大にこの機会をぜひご利用ください。



	名称	分野	環境分野	現地	オンライン	ピッチ
1	グリーンアンドブルー プラネットソリューションズ	サービス業	気候変動緩和、気候変動適応、廃棄物、大気汚染、リサイクル、クリーンエネルギー、スマートシティ、海洋プラスチック、水素関連	○	○	○
2	テーページーラオス	電気・ガス・熱供給・水道業	クリーンエネルギー	○	○	—
3	日立造船株式会社	建設業	気候変動緩和、気候変動適応、廃棄物、クリーンエネルギー、水素関連、ESG投資	○	○	○
4	加山興業株式会社	サービス業	廃棄物、リサイクル、クリーンエネルギー、海洋プラスチック	○	○	○
5	日本工営株式会社	サービス業	クリーンエネルギー	○	—	○
6	株式会社イノカ	サービス業	水環境保全	○	○	○
7	株式会社 アクリート	サービス業	水環境保全、浄化槽	○	○	—
8	株式会社日水コン	サービス業	水環境保全	○	○	○
9	Oxfam in Laos	その他	その他	○	○	○
10	BIPO SERVICE LAO SOLE CO.,LTD	その他	ESG投資、その他	○	○	—
11	Econox Laos	サービス業	気候変動緩和、気候変動適応、廃棄物	○	○	○
12	国際機関日本アセアン センター	その他	廃棄物、リサイクル、スマートシティ、海洋プラスチック、ESG投資、その他	○	○	○
13	東アジア・アセアン経済 研究センター(ERIA)	その他	その他(調査)	○	○	○
14	国連(ラオス)	その他	気候変動緩和、気候変動適応、大気汚染、クリーンエネルギー、ESG投資、金融・保険	○	○	○
15	JPRSI	その他	その他(技術移転プラットフォーム)	○	○	○
16	公益財団法人国際環 境技術移転センター	サービス業	気候変動緩和、廃棄物、大気汚染、水環境保全、リサイクル、その他	—	○	—
17	株式会社西部技研	製造業	気候変動緩和、気候変動適応、大気汚染、クリーンエネルギー、ESG投資	—	○	—
18	株式会社フェイガー	サービス業	気候変動緩和、気候変動適応、ESG投資、金融・保険、その他	—	○	—